

6月議会 一般質問 地域の課題をとりあげました

龍田西小 直通通学路の速やかな整備を

道路整備の検討が熊本地震で一時中断

立田山の東側にある北区龍田のニュータウン三光団地。

地域の皆さんから、約50人いる児童が龍田西小学校へ遠回りをせずに通える、通学路整備の要望が出されています。

現在の通学路は、高台にある団地からいったん北バイパス側道へ降り、再び龍田西小のある団地、ビオトープ龍田の杜を登るという高低差と距離のあるルートで子ども

の足で約40分かかります。

整備の要望が出ているルートは高台の稜線を歩き、三光団地とビオトープの杜を結ぶ約400メートルの未整備の道路。しかし、震災により一部が崩れ通行不能に。それとともに整備計画も一時中断してしまいました。



避難経路としても必要な道路。市「現地測量を実施する」と答弁

三光団地には幹線道路と集落を結ぶ道路が一本しかなく、ひとたび地震などで通行できなくなると、集落が長らく孤立する恐れがあります。先の震災では、この道路が大きく波打つなど被害が出ています。

やまべ市議は「通学路の確保だけでなく災害に備える意味でも、住民に道路整備の見通しを示すべき」と質しました。

これについて市は「本年度から現地測量や予備設計を実施する」と答弁。一程度の見通しをいたしました。

速やかな整備の着手が求められます。



出張所の廃止問題 地域コミュニティの拠点として出張所機能の復活を！

2017年度から、7つの出張所が廃止され、簡単な証明書しか発行できないサービスコーナーになりました。出張所が廃止されたサービスコーナーでは、証明書の取り扱い件数が前年度に比べて、件数、利用率とも大きく減少しました。

なかでも旧総合出張所であったところが大きく減少しています。地域にとってかつての総合出

張所が大変使いづらい施設になってしまった実態がうかがえます。

	2016年度	2017年度	増減数	増減率
大江	58,964	43,139	-15,825	-27%
東部	58,047	42,760	-15,287	-26%
秋津	13,366	10,275	-3,091	-23%
◎花園	28,000	18,871	-9,129	-33%
◎鮑田	10,983	7,003	-3,980	-36%
南部	19,099	14,647	-4,452	-23%
◎北部	22,144	12,862	-9,282	-42%

■廃止された出張所の証明書取り扱い件数の比較
(サービスコーナーで発行する4種類の証明書について数の比較をしています。◎は、旧総合出張所)

住民からも「地域の拠点である総合出張所の廃止。納得できない」

中でも利用率の落ち込みが一番激しかったのが旧北部総合出張所。

ここは、旧鮑託郡・北部町時代から町役場として住民に親しまれ、町民も職員も顔なじみと、地域コミュニティの拠点として機能していました。

実際、昨年行われた『市長と語ろう』では地元住民から「行政の仕事は住民のまちと暮らしを守ることであるはずなのに、地域の拠点である北部総合出張所が廃止されたのは納得できない」との

発言がありました。

やまべ市議は「利用が減った要因は何か。その分析とともに、利用者や地域の声をしっかり聴くべき。また、地域コミュニティの拠点として出張所機能の復活を」と質しました。また「施設の廃止でどういう人たちが不利益を被っているのか。特に福祉関係で困っている人たちの把握を」強く求めました。

